



松高通信

風薫る丘

令和6年度 2月号(150号)

令和7年 2月 28日

文責 舟越 裕



3年生登校日講座

1月に最後の定期考査を終え、自宅学習期間に入った3年生は、卒業した後の社会生活に適応する力を身に付けるため、週に1日登校し、スーツの着こなし講座、認知症についての講話、お茶の淹れ方講座など外部講師による各種講座を受講しました。



18歳になったら投票に行こう!!



主権者教育

2月3日(月)に、松浦市選挙管理委員会事務局 廣川聖貴 次長を講師としてお迎えし、1年生を対象に、主権者教育を行いました。2016年に70年ぶりに選挙権の年齢改正が行われたことなど選挙の歴史から、国の選挙と地方の選挙について、期日前・当日投票についてなど、2年後には人生初の選挙を経験する1年生にとって、非常に興味深いお話ばかりで、「18歳から投票に参加できるのは知っていたが、当日だけでなく期日前投票があると知ったので、ちゃんと選挙に行こうと思った。」
「自分たちの1票の大事さが分かったので積極的に参加したいと思った。」
「選挙権は大切な自分の権利なので無駄にせず、自分の意見をしっかり投票しようと思った。」
など、生徒からは大変頼もしい感想を聞くことができました。





2月14日(金)に令和6年度高等学校体育連盟表彰式が、ホテルセントヒル長崎にて行われました。本校からは、なぎなた部の山口 真尋 さん(地域科学科2年 山代中出身)が参加しました。

祝 令和5年度全国高等学校なぎなた選抜大会 個人3位

今回は長崎県から表彰があり、楯という形に残る物をいただけて嬉しく思います。来年度も式に参加できるよう、今後の部活動に励みたいと思います。

3年生による進路体験講話



2月12日(水)に、進学・就職が決定している3年生による進路体験講話が行われました。国公立大学、私立大学、短期大学、医療系専門学校、専門学校、公務員、一般就職それぞれの生徒の進学、就職に向けての進路実現を体験談を交えながら下級生へのアドバイスを熱く語りました。「自分が気になっている進学先にはオープンキャンパスなどに行って、どんな学校なのか知ることが大切。」「やることを早めに取り組んだり、将来について事前にしっかり考えておくことが大切。」「一般常識には、その年におきた出来事や社会に出るうえで知っておかなければいけないことが出題されるので、ニュースを見る習慣は必要。」ということや「地域に密着した活動をされている学校だったので、まつナビの活動を活かせると思って進学先を選んだ。」など、これから進路に向かう下級生にとって、大変参考になる体験談ばかりでした。



素敵な大人になる

校長 舟越 裕

もうすぐ今年度の『Matsuura 仕事図鑑』が完成します。昨年度に引き続き、市内で働く皆さんを1年生が取材し、中学生に読んでもらうことを目的に作成しています。自分自身で選んだ職を極めたい、社会や地域に貢献したいなど、松浦の「素敵な大人」の職に対する思いが詰まっています。

小学生から高校生の子どもを持つ保護者1,200人に対して、「理想の大人像」を聞いたアンケート調査(atama plus 株式会社、2022年)があります。その回答を見ると、1位「他人とコミュニケーションをうまく取れる」、2位「失敗しても立ち直れる」、3位「自分の意見を言える」でした。これらは社会で活躍する大人の実感に基づいた回答であり、まさに「社会で求められる力」ということにもなります。ただし、高校生が考える「理想の大人像」とは異なるでしょう。

さて、3月1日に61回生が松浦高校を卒業します。卒業時には制度上は「成人」となっていますが、これから様々な経験を積み重ねながら中身を充実させ、子どもたちの「理想の大人」、地域社会を支える「素敵な大人」になってほしいと願っています。

佐世保市高校生美術展

2月6日(木)～9日(日)の期間中、佐世保島瀬美術館にて佐世保市高校生美術展が開催され、本校からも、「松浦」をテーマにしたデザインの作品4点と、まんが部門に1点の計5点の作品が展示されました。

